

第20回日本スポーツ整復療法学会大会

総会資料

主催：日本スポーツ整復療法学会

会期：2018年10月20日（土）・21日（日）

会場：東京海洋大学品川キャンパス（東京）

【大会実行委員会事務局】

〒275-8576 千葉県習志野市新栄 2-11-1

日本大学 生産工学部 教養・基礎科学系 菊地 俊紀

TEL:047-474-2885 FAX:047-473-2950 E-mail: kikuchi.toshiki@nihon-u.ac.jp

第 20 回日本スポーツ整復療法学会学会大会

総会次第

開会の辞

会長挨拶

議長団選出

議事録署名人

議事

1号議案：平成 29 年度事業報告

2号議案：平成 29 年度決算報告

3号議案：平成31 年度事業案

4号議案：平成31 年度予算案

5号議案：次期役員・評議員について

6号議案：その他

閉会の辞

第1号議案:平成29年度事業報告

1. 第19回学会大会(2017年12月9日(土)・10日(日))於:明治東洋医学院専門学校(大阪)を開催した。
2. 機関誌「スポーツ整復療法学研究」第18巻3号、19巻1号、2号を発刊した。
3. 学術研修会を開催した。(第126回から128回計4回)

【第126回回学術研修会】 関東支部 (平成29年度第1回関東支部研修会)

【日時】平成29年5月28日(日)10:00-※9:30 受付開始 【場所】東京海洋大学品川キャンパス 2号館100B教室(東京都港区港南4-5-7) 【交通】JR線・京品急行線「品川駅」港南口より徒歩10分 りんかい線「天王洲アイル駅」より徒歩15分:東京モノレール「天王洲アイル駅」より徒歩10分 【主催】日本スポーツ整復療法学会関東支部 【内容】共通テーマ「2020東京パラリンピックに向けて」午前の部(10:00-11:30)講演「5度のパラリンピックを経験して」講師:鈴木 徹 先生(SMBC 日興証券(株)) 午後の部(12:30-14:00)講演「障がい者スポーツ選手のサポート事例」講師:後藤直美 先生(Green Room 北柏整骨院障がい者スポーツトレーナー) 研修会終了後に平成29年度関東支部総会を行います。【参加費】会員1,000円 一般2,000円 学生無料(受付で学生証を提示下さい) 昼食は各自ご用意下さい【参加申込】関東支部会員 同封の返信用はがきにてお申し込み下さい。他支部会員は事務局まで連絡ください。【お問い合わせ】:日本スポーツ整復療法学会関東支部事務局〒275-8576 千葉県習志野市新栄2-11-1 日本大学生産工学部教養・基礎科学系 菊地研究室 kikuchi.toshiki@nihon-u.ac.jp

【第127回回学術研修会】 九州支部 (日本スポーツ整復療法学会第15回九州支部大会)

【日時】平成29年8月27日(日) 午前9時15分開会(受付8時30分開始)【場所】久留米大学 御井キャンパス 500号館1階福岡県久留米市御井町1635 Tel(代表)0942-43-4411 【交通】JRをご利用の場合 JR久留米大学前駅下車 徒歩3分 【主催】日本スポーツ整復療法学会第15回九州支部 【共催】久留米大学 健康・スポーツ科学センター人間健康学部【内容】基調講演1 9時30分~11時00分(51A教室)「肩・肘領域における超音波診療」下河邊 久雄先生(医療法人 尽心会 百武整形外科・スポーツクリニック 医師) 休憩(医療機器展示)11時00分~11時10分 研究発表1~3 11時10分~12時00分 昼食休憩(医療機器展示)12時00分~13時00分 研究発表4~5 13時00分~13時30分 休憩(医療機器展示)13時30分~14時00分 基調講演2 14時00分~15時30分(51A教室)「野球肘に対する競技復帰のリハビリテーション ~機能評価からアプローチの実際~」 弥富雅信先生(医療法人 友和会 鶴田整形外科理学療法士 日本協アスレティックトレーナー) ~研究発表~ 演題1「私の行う colles 骨折の整復法の注意点」角田 慈佑 先生(すみだ整骨院) 演題2「小児期の足関節外果裂離骨折の治療経験」吉原 稔 先生(タケダスポーツクリニック) 演題3「前面着脱式 頸椎カラーの考案」山下 真弥 先生(山下整骨院) 演題4「子どもの下肢痛、不良姿勢に対して 靴(足部)からのアプローチが有用であった1症例」堤 賢一 先生(つつみ接骨院) 演題5「橈骨遠位端伸展骨折(関節内粉砕型)の症例経験」中 浩一 先生(なか整骨院) 【参加費】会員4000円 (JSSPOT・JATAC・各会員研修生・学生) ※学生証提示 一般8000円 ※抄録・弁当付(弁当は事前受付の方のみ) ※おつり不要でお願いします 【参加申込】8月15日までにメール、HPよりお申し込み下さい。九州支部事務局(経理係) FAX 092-806-1453 Email jsspot.kyushu@gmail.com ※ 詳細はホームページをご覧ください。JSSPOT 九州支部 検索 【お問い合わせ】:ぜんどうじ整骨院 久留米市善導寺町飯田294-7

【第128回回学術研修会】 関東支部 (平成29年度第2回関東支部研修会)

【日時】平成29年11月19日(日)10:00- 【場所】東京海洋大学品川キャンパス 9号館208教室(東京都港区港南4-5-7) 【交通】JR線・京品急行線「品川駅」港南口より徒歩10分 りんかい線「天王洲アイル駅」より徒歩15分:東京モノレール「天王洲アイル駅」より徒歩10分 【主催】日本スポーツ整復療法学会関東支部 【内容】共通テーマ「野球-2020東京五輪正式種目

復活を記念してー」午前の部 (10:00-11:30) 講演「ジュニア期に起こりやすい投球障害とその評価」講師：吉田干城 先生 (横浜ベースボール整骨院医科学研究所) 午後の部 (12:30-14:00) 講演「高校野球現場におけるコンディショニングの実際」講師：庄司智則 先生 (帝京大学医療技術学部) 【参加費】会員 1,000 円 一般 2,000 円 学生無料(受付で学生証を提示下さい) 昼食は各自ご用意下さい 資料を準備する都合上、事前のお申込みにご協力ください。【参加申込・問い合わせ先】日本スポーツ整復療法学会関東支部事務局 〒275-8576 千葉県習志野市新栄 2-11-1 日本大学生産工学部教養・基礎科学系菊地研究室 TEL : 047-474-2885 Email : kikuchi.toshiki@nihon-u.ac.jp

第2号議案:平成29年度決算(案)

収入の部					
科目		29年度予算額	29年度決算額	収支	内訳
繰越金		400,000	40,558	-359,442	H26年度繰越金
事業収入		2,140,000	1,833,000	-307,000	
	入会金	40,000	18,000	-22,000	新入会員20名→9名
	年会費	1,600,000	1,284,000	-316,000	正会員200名→正会員158名学生4名
	大会参加費	500,000	531,000	31,000	正会員100名→正会員62学生4
雑収入		600,000	521,897	-78,103	
	投稿料	100,000	20,000	-80,000	10編→2編
	広告、展示	200,000	119,568	-80,432	広告5 展示3件→広告3 展示3件
	寄付金	150,000	83,000	-67,000	20件→12件
	その他	150,000	249,329	99,329	大会号販売・銀行利息・雑収入ほか
	基金借用	0	50,000	50,000	国際交流研究基金より借用
収入合計		3,140,000	2,395,455	-744,545	
支出の部					
科目		29年度予算	29年度決算額	増減	内訳
事業費		2,240,000	1,720,676	-519,324	
	学会大会委員会	750,000	730,122	-19,878	
	大会委託費	700,000	700,000	0	実行委員会
	雑費	50,000	30,122	-19,878	評議委員会、総会案内
	編集委員会	1,330,000	966,570	-363,430	
	印刷製本費	900,000	900,449	449	学会誌18(3)、19(1)(2)
	通信運搬費	100,000	1,171	-98,829	学会誌発送
	旅費交通費	100,000	40,910	-59,090	委員会2回
	諸謝金	150,000	10,000	-140,000	査読代等
	会議費	30,000	4,040	-25,960	施設借用料等
	雑費	50,000	10,000	-40,000	委員会準備、編集・学会誌発送作業等
	学術研修委員会	160,000	23,984	-136,016	
	通信費	50,000	1,014	-48,986	はがき切手等
	旅費交通費	10,000	0	-10,000	支部会打合せ等
	消耗品費	30,000	0	-30,000	タックシール、トナー等
	諸謝金	40,000	4,200	-35,800	アルバイト等
	雑費	30,000	18,770	-11,230	その他
管理費		900,000	653,260	-246,740	
	会議費	100,000	90,919	-9,081	施設借用料、理事会、監査等
	旅費交通費	530,000	483,000	-47,000	理事会、各委員会等
	渉外費	30,000	30,000	0	広告、関係団体会議等(Jatac)
	通信費	50,000	5,970	-44,030	個人情報シールほか
	消耗品費	50,000	108	-49,892	コピー、トナー等
	諸謝金	50,000	1,009	-48,991	事務作業等
	雑費	50,000	11,200	-38,800	その他
	予備費	40,000	31,054	-8,946	インターネット開設費ほか
支出合計		3,140,000	2,373,936	-766,064	
平成29年度収支		収入	支出	収支	H30用繰越金
		2,395,455	2,373,936	21,519	
国際交流・研究基金積立金					
		収入	支出	収支	備考
繰越金		7,809,590	0	7,809,590	H28年度繰越金
平成29年度利息		27		7,809,617	郵便局利息
一般会計に貸出			50,000	7,759,617	貸出
計		7,809,617	50,000	7,759,617	H30年度繰越金

監査報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの帳簿、書類を閲覧した結果、法令ならびに定款に適合していることを報告します。

平成30年 7月 5日

日本スポーツ整復療法学会

監事 今野 隆 

監事 渡邊 英一 

第3号議案:平成30年度事業案

1. 第21回学会大会を開催する。
2. 機関誌「スポーツ整復療法学研究」第21巻(1号、2号および3号)を発行する。
3. 学術研修会を開催する。
4. 内外の関連学会との連携をはかる。
5. その他目的を達成するための事業を行う。

第4号議案:平成31年度予算案

平成31年度予算(案)							
収入の部							
科目		30年度予算	31年度予算	増減	内訳		
繰越金		400,000	400,000	0			
事業収入		2,150,000	2,150,000	0			
	入会金	50,000	50,000	0	→25名		
	年会費	1,600,000	1,600,000	0	→会員200人(@8000)		
	大会参加費	500,000	500,000	0	参加者100名(@5000)→100名		
雑収入		600,000	700,000	100,000			
	投稿料	100,000	100,000	0	→10編		
	広告、展示	200,000	300,000	100,000	→大会広告5件・展示5件		
	寄付金	150,000	150,000	0	20件(@5000)→20件		
	その他	150,000	150,000	0	別刷ほか		
収入合計		3,150,000	3,250,000	100,000			
支出の部							
科目		30年度予算	31年度予算	増減	内訳		
事業費		2,130,000	2,200,000	70,000			
	学会大会委員会	750,000	750,000	0			
	大会委託費	700,000	700,000	0	大会実行委員会		
	雑費	50,000	50,000	0	評議員会、総会案内および出欠確認		
	編集委員会	1,310,000	1,360,000	50,000			
	印刷製本費	900,000	950,000	50,000	学会誌21巻1,2,3号印刷費		
	通信運搬費	50,000	50,000	0	学会誌発送		
	旅費交通費	150,000	150,000	0	委員会		
	諸謝金	150,000	150,000	0	査読謝金、英文チェック、アルバイター等		
	会議費	30,000	30,000	0	施設借用料等		
	雑費	30,000	30,000	0	雑貨		
	学術研修委員会	70,000	90,000	20,000			
	通信費	20,000	20,000	0	メールシステム活用		
	旅費交通費	10,000	10,000	0	学術研修会交通費		
	消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品等		
	諸謝金	10,000	10,000	0	アルバイト等		
	雑費	20,000	40,000	20,000	雑貨(地方研修会重点化対策費含む)		
管理費		1,020,000	1,050,000	30,000			
	会議費	80,000	100,000	20,000	施設借用料、理事会、監査等		
	旅費交通費	650,000	650,000	0	理事会、各委員会等、顧問相談役支援		
	渉外費	30,000	30,000	0	広告、関係団体会議等		
	通信費	100,000	50,000	-50,000	メールシステム活用		
	消耗品費	50,000	50,000	0	コピー、トナー等		
	諸謝金	20,000	20,000	0	事務作業等		
	雑費	50,000	50,000	0	理事会、各種委員会作業等		
	予備費	40,000	100,000	60,000	委員会活動重点化対策用(部位別・分科会ほか)		
支出合計		3,150,000	3,250,000	100,000			

5号議案:次期役員・評議員について

選挙管理委員会(委員長今井裕之、委員藤本浩一、委員片岡裕恵)の下、次期理事役員理事役員、評議員(任期2019年4月1日から2022年3月31日まで)の選挙が行われ、以下の候補が推薦された。

理事役員候補(20名以内 定款第11条)

地区	氏名	所属	地区	氏名	所属
(北海道)	小野寺恒己	東町整骨院	(関西)	岩本芳照	岩本接骨院
(東北)	草野久一	南校前接骨院	(関西)	住田卓也	すみだ接骨院
(関東)	菊地俊紀	日本大学	(関西)	河上俊和	太成学院大学
(関東)	行田直人	帝京科学大学	(関西)	滝瀬定文	元大阪体育大学
(関東)	佐竹弘靖	専修大学	(関西)	林 知也	明治国際医療大学
(関東)	渋谷権司	渋谷接骨院	(関西)	増原光彦	元大阪体育大学
(関東)	白石 聖	帝京大学	(九州)	勝田浄邦	勝田整骨鍼灸院
(関東)	千足耕一	東京海洋大学	(九州)	草場義昭	草場整骨院
			(九州)	西島稔了	西島整骨院

理事定数は8地区(北海道、東北、関東、北信越、東海、関西、中四国および九州)の選挙権を有する会員数から理事定数を定める(選挙細則第8条)。役員理事定数(北海道1、東北1、関東6、北信越1、東海1、関西6、中四国0、九州3) 監事は、評議員定数の選挙区上位2選挙区から各1名ずつ会長が指名する(選挙細則第9条)

評議員候補(50名以内 定款第17条)

地区	定数	氏名				
北海道	3	栗井俊安	佐藤勇司	工藤四海		
東北	2	加藤 剛				
関東	14	今井裕之	荒井俊雅	佐野裕司	藤本浩一	張 軍
		岡本孝信	北澤正人	今野廣隆	土肥敬一郎*	
北信越	3	佐々木泰介*	丸山 智*	丸山 剛		
東海	3	服部祐兒*	服部洋兒	村松常司		
関西	15	岩田勝*	田邊美彦*	高須英世	泉晶子*	谷口和彦*
		吉井健悟	神内伸晃	畠中幸治*	吉田正樹*	北野吉廣
		西川孝明*	小林一雅	濱口夏花*	野原俊一*	香西直樹
中四国	0					
九州	8					

評議員定数は、各選挙区の選挙細則第5条に規定する選挙権を有する正会員数に基づく比例配分(選挙細則第8条)

* 受諾確認中

6号議案:その他

日本スポーツ整復療法学会定款

平成11年5月1日施行
平成12年10月30日改訂
平成15年10月18日改訂
平成19年10月21日改訂

第1章 総則

- 第1条 本会は日本スポーツ整復療法学会という。英文名を The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy(略称JSSPOT)とする。
- 第2条 本会は事務局を理事長の所在地に置く。
- 第3条 本会は評議員会の審議を経て理事会および総会の議決により支部を置く。

第2章 目的および事業

- 第4条 本会はスポーツ医科学、柔道整復学および関連諸科学に関する学際的研究とそれらの情報交換を行い、スポーツ整復療法学の構築ならびにその発展を図ることを目的とする。
- 第5条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- 1)研究発表会ならびに学術講演会等の開催
 - 2)学会誌ならびに学術図書等の刊行
 - 3)内外の関連学会との交流
 - 4)その他目的を達成するための必要な事業

第3章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 1)正会員社会人であってスポーツ整復療法に学問的関心を持つ個人
 - 2)学生会員学生であってスポーツ整復療法に学問的関心を持つ個人
 - 3)賛助会員本会の事業に賛助する法人
 - 4)講読会員スポーツ整復療法学研究の講読のみを希望する個人および法人
- 第7条 本会に正会員として入会しようとする者は正会員1名の推薦を得て会長宛に入会申込書を提出し理事会の承認を得ることとする。但し、学生会員の入会は正会員1名の推薦でよいものとする。
- 第8条 会員は以下に定めた入会金および年会費の支払いを義務とする。
- | | | |
|-----|--------|----------------|
| 入会金 | 1)正会員 | 2000円 |
| | 2)学生会員 | 0円 |
| | 3)賛助会員 | 2000円 |
| | 4)講読会員 | 0円 |
| 年会費 | 1)正会員 | 8000円 |
| | 2)学生会員 | 5000円 |
| | 3)賛助会員 | 一口8000円(何口でも可) |
| | 4)講読会員 | 8000円 |
- 第9条 会員が退会しようとするときは、退会届を会長宛に提出しなければならない。

第10条 会員が次の各項に該当するときは会長は理事会の議決を経て除名することができる。

- 1) 本会の名誉を著しく傷つけ本会の目的に違反する行為があったとき
- 2) 本会の会員としての義務を怠ったとき

第4章 役員、評議員、顧問および相談役

「役員」

第11条 本会に次の役員を置く。

- 1) 会長 1 名、副会長 2 名、理事長 1 名および理事を含め 20 名以内
- 2) 監事 2 名
- 3) 上記の役員の他、会長は若干の役員を指名することができる。

第12条 役員を選出および承認は下記のとおりとする。

- 1) 役員は立候補により正会員の中から選出する。
- 2) 会長、副会長および理事長は理事の中から互選し総会で承認されなければならない。
- 3) 選出細則は別に定める。

第13条 役員の実務は下記のとおりとする。

- 1) 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。
- 2) 副会長は会長を補佐し会長が欠けたときその職務を代行する。
- 3) 理事長は理事会を代表する。
- 4) 理事は理事会を組織し、本会の定款に定められた事項等を議決し執行する。
- 5) 監事は本会の業務および財産管理の業務の監査を行う。

第14条 役員の実任期間は 3 年とし再選を妨げない。役員の実任に伴う後任役員の実任期間は現任者の実任期間とする

第15条 役員が下記の項目に該当するときは、理事会の 4 分の 3 以上の議決によりこれを解任することができる。

- 1) 心身の故障のため職務の執行に耐えられないと認められるとき
- 2) 役員としてふさわしくないと認められるとき

第16条 役員は無給とする。

「評議員」

第17条 本会に評議員 50 名以内を置く。

第18条 評議員は北海道地区、東北地区、関東地区、北信越地区、東海地区、関西地区、中国・四国地区および九州地区から比例配分数を投票により選出し総会で承認する。なお選出細則は別に定める。

第19条 評議員は評議員会を組織し、本会の定款に定める事項の他、理事会の諮問に応じ審議し助言する。

第20条 評議員は第 14 条、第 15 条および第 16 条を準用する。

「顧問および相談役」

第21条 本会に顧問および相談役を置くことができる。理事会の議決を経て会長が委嘱する。

第5章 会議

「理事会」

第22条 理事会は毎年 2 回会長が召集する。但し理事の 3 分の 1 以上から開催を請求されたとき、または理事長が必要と認めるときはこの限りでない。理事会の議長は理事長とする。

2)理事会は定数の3分の2以上の出席がなければ開催し議決することはできない。ただし委任状をもって出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

第23条 理事会は各種委員会を設置することができる。

「評議員会」

第24条 評議員会は毎年1回会長が召集する。但し会長が必要と認めたときはこの限りでない。評議員会の議長は評議員の互選とする。

2)評議員会は定数の2分の1以上の出席がなければ開催し議決することはできない。但し委任状をもって出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

「総会」

第25条 総会は正会員で構成し、毎年1回会長が召集する。但し正会員の3分の1以上から開催を請求されたときまたは会長が必要と認めたときはこの限りでない。総会の議長は正会員の互選とする。

2)総会は定数の10分の1以上の出席がなければ開催し議決することはできない。但し委任状をもって出席とみなす。

3)議決は出席者の過半数とし、可否同数のときは議長が決定する。

第26条 総会は次の事項を議決する。

- 1)事業計画および収支予算
- 2)事業報告および収支決算
- 3)財産目録および貸借対照表
- 4)その他必要事項

第6章 資産および会計

第27条 本会の資産は次のとおりとする。

- 1)入会金および年会費
- 2)寄付金
- 3)その他の収入

第28条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第7章 定款の変更

第29条 本会の定款の変更は評議員会の審議を経て、理事会および総会のそれぞれ4分の3以上の議決を経なければならない。

第8章 補足

第30条 本会の定款の施行細則は評議員会の審議を経て理事会および総会の議決を経なければならない。

付 則

第4章の規定にかかわらず、本会の設立当初の役員および評議員の任期は平成13年3月31日までとする。本会の定款は平成11年5月1日より施行する。

日本スポーツ整復療法学会 現理事役員・評議員
(任期:2016年4月1日から2019年3月31日まで)

【理事・役員】

(定数 20名以内)

役職	氏名	所属	地区	氏名	所属	地区
会長	増原光彦	元大阪体育大学	(関西)			
副会長	原 和正	原整骨院	(北信越)	佐竹弘靖	専修大学	(関東)
理事長	片岡幸雄	大阪人間科学大学	(関東)			
理事	工藤四海	四海堂整骨院	(北海道)	菊地俊紀	日本大学	(関東)
	加藤 剛	春日整骨院	(東北)	岩本芳照	岩本接骨院	(関西)
	草野久一	南高前接骨院	(東北)	住田卓也	すみだ接骨院	(関西)
	行田直人	帝京科学大学	(関東)	滝瀬定文	大阪体育大学	(関西)
	渋谷権司	渋谷接骨院	(関東)	林 知也	明治国際医療大学	(関西)
	白石 聖	帝京大学	(関東)	草場義昭	草場整骨院	(九州)
	千足耕一	東京海洋大学	(関東)	西島稔了	西島整骨院	(九州)
監事	今野廣隆	元高千穂商科大学	(関東)	渡辺英一	用田接骨院	(関東)
事務局	村松成司	ちばてんだいSV	(関東)			
顧問	片岡繁雄					
相談役	五十嵐仁	岡本武昌	岸野雅方	畠中耕作		

日本スポーツ整復療法学会評議員

(定数 50名以内)

地区	定数	評議員氏名					
北海道地区	4	小野寺恒己	加藤吏功	佐藤勇司	田中稔晃		
東北地区	1	—					
関東地区	16	荒井俊雅	市原正雄	今井裕之	入澤 正	岩本圭史	岡本孝信
		加瀬建造	北澤正人	輿水正子	佐野裕司	高橋良典	張 軍
		中村正道	蛭間栄介	藤本浩一	諸星眞一		
北信越地区	2	伊東功一	佐々木泰介				
東海地区	4	金子恵一	服部祐兒	服部洋兒	村松常司		
関西地区	15	泉 晶子	岩田 勝	牛嶋宏幸	大木琢也	小原教孝	五反田重夫
		神内伸晃	田邊美彦	谷口和彦	平田耕一	森 経介	吉井健吾
中四国地区	1	—					
九州地区	7	勝田浄邦	草場義則	武富清文	鶴田裕二	西原 清	橋口浩治
		藤田英二					

各地区の定数は2014年度会費納入者総数(正会員)に占める各地区の会員数による比例配分。

日本スポーツ整復療法学会 専門分科会部会長

人体に対する整復療法の基本を人体各部位別療法と全身的療法との有機的連携の視点にたち人間の総合的回復を目的とする学際的研究の確立を目的として、下記の研究部会が設立しております。各会員が必ずとも1つ以上の部会に登録し、活発な種別を行うことを期待します。なお部会の登録数は幾つでも良いが、部会毎に通信費等がかかります。

1.研究部会

A.部位別研究部会

- | | | |
|------------------|-----------------------|---|
| 1)スポーツ・シオルダー部会 | 部会長:田邊美彦
タナベ整骨院 | 〒563-0032 池田市石橋 2-14-11
TEL 072-761-5084 FAX 072-761-5084 |
| 2)スポーツ・エルボー部会 | 部会長:渋谷権司
渋谷接骨院 | 〒196-0025 東京都昭島市朝日町 5-7-36
TEL 042-543-0984 shibuya@river.sanmet.ne.jp |
| 3)スポーツ・リスト部会 | 部会長:岩本芳照
岩本接骨院 | 〒651-2117 神戸市西区北別府 2-2-3
TEL&FAX:078-974-7555 yiwamoto@osk3.3web.ne.jp |
| 4)スポーツ・バックイク部会 | 部会長:西條義明
墨坂整骨院 | 〒382-0098 須坂市墨坂南 2-8-35
TEL&FAX:026-248-3163
sumisakaseikotuin@stvnnet.home.ne.jp |
| 5)スポーツ・ニー部会 | 部会長:草場義昭

草場整骨院 | 〒838-0128 福岡県小郡市稲吉 1372-1

TEL: 0942-72-9382 FAX:0942-73-0333
yoshiaki@mocha.ocn.ne.jp |
| 6)スポーツ・ポダイアトリー部会 | 部会長:入澤 正
初石接骨院 | 〒270-0121 千葉県流山市西初石 4-474-1
TEL:0471-54-1503 FAX:0471-54-1503
irisawa@maple.ocn.ne.jp |
| 7)スポーツ・カイロ部会 | 部会長: | |

B.基礎研究部会

- | | | |
|--------------------|----------------------|--|
| 1)スポーツ整復工学部会 | 部会長:岡本武昌
明治国際医療大学 | 〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL: 0771-72-1181 FAX:06-6647-5578
t_okamoto@meiji-u.ac.jp |
| 2)スポーツ療法科学部会 | 部会長:片岡幸雄
大阪人間科学大学 | 〒566-8501 大阪府摂津市正雀 1-4-1
TEL : 06-6381-3000 (代表)
E-mail: itsu-tenrin@nifty.com |
| 3)スポーツ社会心理療法学部会 | 部会長: | |
| 4)アスレチックトレーナー実践学部会 | 部会長: 原 和正
原整骨院 | 〒381-0083 長野県長野市西三才 1367-3
TEL&FAX:026-295-3302
MLH31559@nifty.com |
| 5)スポーツ栄養学部会 | 部会長 | |

2.活動内容

- 1)学術大会においてシンポジウムを開催する。
- 2)学術大会における一般発表および共同研究発表を促進する。
- 3)研究部会に関連した研修会、講演会を開催する。(開催に際しては必ず学会事務局に連絡のこと)
- 4)内外の関連学会との連携および情報の収集を促進する。
- 5)その他、研究部会に関連する事項である。

3.会費

- 1)各部会は通信費として1人年間1000円程度を徴収する。研修会等における会費は別途徴収する。

4.登録方法

- 1)登録用紙に必要事項を記入の上、部会長に提出する。
- 2)登録用紙は学会のホームページ(巻末事務局欄に掲載)より印刷することができます。

日本スポーツ整復療法学会本部・支部一覧

(2018年6月18日現在)

会員数:308

学会本部

理事長:片岡幸雄(大阪人間科学大学) 〒566-8501 大阪府摂津市正雀 1-4-1 TEL:06-6381-3000 (代表)
E-mail: itsu-tenrin@nifty.com
事務局:村松成司 〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町 664-83
TEL/FAX 043-254-8311 E-mail:mshigeji@faculty.chiba-u.jp

北海道地区:会員 15 名

支部長:工藤四海 副支部長:佐藤勇司
事務局:小倉秀樹(青葉専門学校) 〒060-0053 北海道札幌市中央区南3条4丁目 1-24
TEL: 011-231-8989 FAX: 011-231-8883 E-mail: hideki1965jp@yahoo.co.jp

東北地区:会員 5 名

支部長:加藤 剛(春日整骨院)
事務局: 〒992-0044 山形県米沢市春日 5-2-22
TEL: 0238-24-1468 FAX: 0238-24-1468 E-mail: kasuga@omn.ne.jp

関東地区:会員 68 名

支部長:佐竹弘靖(専修大学) 副支部長:諸星真一
事務局:菊地俊紀 日本大学生産工学部教養・基礎科学系 〒275-8576 千葉県習志野市新栄 2-11-1
TEL:047-474-2885 FAX:047-473-2950 E-mail: kikuchi-toshiki@nihon-u.ac.jp

北信越地区:会員 14 名

支部長:原和正(原整骨院)
事務局: 〒381-0083 長野県長野市西三才 1367-3
TEL:026-295-3302 FAX:026-295-3302 E-mail:hara.kazu@nifty.com

東海地区:会員 17 名

支部長:高間敏宏(高間接骨院)
事務局:坂井祐二(加茂接骨院) 〒438-0804 静岡県豊田町加茂 90-3
TEL:0538-36-0104 FAX:0538-37-1356 E-mail:ys-kamo@po2.across.or.jp

関西地区:会員 99 名

支部長:田邊美彦(タナベ整骨院) 〒563-0032 池田市石橋 2-14-11
事務局:大木琢也(明治国際医療大学) 〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷 6-1
TEL: 0771-72-1181(内線 375) Fax:0771-72-0326 E-mail:t_ohgi@meiji-u.ac.jp

中国・四国地区:会員 9 名

九州地区:会員 41 名

支部長: 勝田浄邦(勝田整骨鍼灸院) 〒819-1641 福岡県糸島市二丈吉井 4087-4
事務局: 古賀 智(ぜんどうじ整骨院) 〒839-0824 福岡県久留米市善導寺町飯田 294-7
TEL: 0942-47-5539 E-mail:jsspot.kyushu@gmail.com

海外(特別会員):6 名 アメリカ合衆国 2 名 オーストラリア 4 名

賛助会員:

(有)アクアティック	(株)インパクトトレーディング	株式会社ウィルメディカル
伊藤超短波株式会社	(株)エス・エス・ビー	(株)NBC
(株)OAシステムシャープ	キネシオテーピング協会	キネシオテーピング学会
九州医療専門学校	是吉興業株式会社	古守工業株式会社
シスメックス株式会社	(有)シモジマ	(有)スポーツスタイル
スポーツアロマ・コンディショニングセンター	セノー株式会社	全国柔整鍼灸協同組合
JB日本接骨師会	ダイヤ工業株式会社	(株)東京しまむら医療
(有)トーコー泉	株式会社なかむら医療器	株式会社日本メディックス(株)
(株)NIKKEN	日本医療サポーター株式会社	(株)日本医療福祉新聞社
株式会社ファロス	福岡生活法務サポート	平成医療学園専門学校
ミナト医科学株式会社	(学)森ノ宮医療学園	(株)ユメディカ
有限会社ライタックス	NPOジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会(NPO・JATAC)	

購読会員:6 団体

NPO医学中央雑誌刊行会	大阪体育大学図書館	帝京大学宇都宮キャンパス図書館
独立法人科学技術振興機構	日本体育大学図書館	桐蔭横浜大学大学情報センター

寄付金一覧

2017年度 (2017年9月1日～2018年3月31日)

個人	20,000円	谷口和彦	2017/12/09
	10,000円	畠中耕作	2017/12/09
	2,000円	片岡裕恵	2017/10/31

2018年度 (2018年4月1日～2018年9月15日)

個人	20,000円	増原光彦	2018/07/23
----	---------	------	------------

日本スポーツ整復療法学会第20回大会 展示企業

株式会社 日本シグマックス

OAシステムシャープ

株式会社大塚製薬工場 OS-1 事業部

日本スポーツ整復療法学研究 第20巻2号 広告掲載企業

株式会社 日本シグマックス

OAシステムシャープ

小林製薬株式会社

足道

三陽メディア株式会社

海外研修申込み募集のお知らせ

本学会における学際的研究を一層促進し、将来の方向性を位置づけるために、人材の育成は欠かすことが出来ない重要な課題です。そこで下記の要領で海外研修の申請を受け付けます。研修受け入れ人数は年間若干名とします。

1. 応募条件

- 1) 募集資格は本学会の正会員とする。
- 2) 原則として日常の英会話ができること。
- 3) 研修期間は1ヶ月から3ヶ月未満とする。
- 4) 助成額は30万円を限度とする。
- 5) 研修期間が終了後3ヶ月以内に機関誌「スポーツ整復療法学研究」に海外研修記を掲載することを義務とする。

2. 申し込み方法

- 1) 申請書を学会事務局に提出してください。
- 2) 正会員5名の推薦および保証人1名が必要です。
- 3) 申請書は学会ホームページ(巻末事務局欄に掲載)よりダウンロードするか、事務局より取り寄せて下さい。

3. 応募期間

- 1) 平成31年4月1日～4月30日

4. 審査の決定

- 1) 本人に直接通知し、学会誌に発表します。

研究助成申込み募集のお知らせ

本学会における学際的研究を一層促進し、将来の方向性を位置づけるために、質の高い学際的研究の促進は欠かすことが出来ない重要な課題です。そこで下記の要領で、研究助成の申請を受け付けます。

1. 応募条件

- 1) 本学会の正会員とする。
- 2) 研究領域はスポーツ整復療法学関連の領域(概ね、本学会の学術大会発表領域)とする。
- 3) 研究期間は2年未満とする。
- 4) 助成総額は30万円を限度とする。
- 5) 成果の報告は研究期間が終了後、6ヶ月以内に学術大会における研究発表および機関誌「スポーツ整復療法学研究」に原著論文として掲載することを義務とする。

2. 申し込み方法

- 1) 申請書を学会事務局に提出してください。
- 2) 申請書は学会ホームページ(巻末事務局欄に掲載)よりダウンロードするか、事務局より取り寄せて下さい。

3. 応募期間

- 1) 平成31年4月1日～4月30日

4. 審査の決定

- 1) 本人に直接通知し、学会誌に発表します。

編集後記

いわゆる科学研究雑誌に掲載されるものはどんなものがあるのだろうか？原著論文、研究資料、活動報告、論文紹介、教養講座、などなど。この順番にはいろいろあると思うが、いつもトップに掲げられるのが「原著論文」である。十分な先行研究をもとにテーマが起案され、適切な実験方法あるいは調査方法により結果（情報）が得られ、さらに様々な統計手法を駆使して普遍的な事実を自己のオリジナリティに沿って展開する、文章にしてみると仰々しい、なかなか一筋縄ではいかないもののように感じる。それだけに原著論文が一番に位置するのも頷ける気がする。しかし、原著論文が総合的に高い評価を得るものであることは否定しないが、分野によっては他の項目も原著論文と同じようにもっと重点的に扱っても良いように感じることもある。本学会のように多くの会員は実際に現場をもち、クライアントに対して日々様々な問題にぶち当たる。どのように処置したら患者にとって良いか、その後の経過についてはどのような方法が最適であろうか・・・と。多くの場合、自己の経験（処置および情報収集）で処理できてしまうと思われるが、時として他の先生はどうするのだろうか、もっと良い方法があったのではないかと考えることも少なくないと思う。原著論文としてまとめ上げることはできないが、自分が現場で抱えた問題について例え少数例であっても文章でもって多くの仲間に提起する。症例報告にはなるが実践的な、価値のあるレポートである。そのレポートをまた仲間が参照し、新たな問題点を提起する。傷害種、処置種、回復の様子、性別、年齢、体質、性格、様々なキーワードから必要なレポート（現場報告）を探し、活用し、また新たな自分の対処法を模索する。そのような現場重視の「情報タンク」がこの学会に存在し、またこの学会誌がその大役を担うことを、編集を担当していつも感じている。上手く表現できたかどうか分からないが、現場レポート（研究資料・活動報告）も原著論文に負けない重要なコーナーであり、報告数が多くなればなるほどその重要性は増す。そのようなコーナーをもっともっと賑わしていただけることを期待するばかりです。(S.M)。

編集委員会

滝瀬定文(委員長)

増原光彦 行田直人 片岡幸雄 渋谷権司 村松成司

Journal of Sport Sciences and Osteopathic Therapy

Vol.20 No.2 October 2018

禁無断転載

スポーツ整復療法学研究(第20巻・第2号)

非売品

2018年10月5日発行

発行者 日本スポーツ整復療法学会 会長 増原光彦

発行所 日本スポーツ整復療法学会事務局

(<http://www.e.chiba-u.jp/~mshigeji/JSSPOTH/JSSPOTH.html>)

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町664-83

TEL&FAX: 043-254-8311 E-mail:mshigeji@faculty.chiba-u.jp

郵便振替:00110-4-98475

印刷所 三陽メディア株式会社

〒260-0824 千葉市中央区浜野町1397

TEL: 043-266-8437 FAX: 043-266-1498